

C-1

我が子の「好き!」から始めよう ～興味・関心・知的好奇心のくすぐり方～

我が子に「勉強をがんばって欲しい。」「いろいろなことに興味を持って挑戦して欲しい。」と願うのは、親として自然な思いです。しかし、子供が自主的に勉強しなかったり、何に対してもあまり興味や関心を示さなかったりして、親としては歯がゆい思いをすることはありませんか？

ここでは、子供が「学び」に取り組むきっかけ作りについて考えてみましょう。

エピソード

太郎は、友達から「恐竜先生」と呼ばれています。太郎が恐竜先生になったきっかけは、お父さんの一言でした。太郎が戦隊シリーズの怪獣に夢中になっていたある日、お父さんが、「怪獣は本当にはいないけれど、恐竜は昔々、本当にいたんだよ。」と教えてくれたのです。それ以来、太郎は恐竜に興味を持つようになりました。お母さんは、恐竜の絵本を図書館で借りてきてくれました。おばあちゃんは、恐竜図鑑を買ってくれました。毎晩、太郎は寝る前にその恐竜図鑑を眺めます。また、今年の夏休みには、恐竜博に連れて行ってもらうことになっています。

太郎の将来の夢は、本物の恐竜博士になって、恐竜の化石の発掘をすることです。

ワーク 1

- ① 太郎君は恐竜に興味を持っています。お子さんは、今、何に興味や関心を持っていますか。

- ② あなたは、その興味や関心をどのように応援し、子供の可能性につなげたいと思いますか。

- ③ グループで話し合ってみましょう。

ワーク 2

子供に興味・関心を持たせるには、親の働き掛けが大切です。知的好奇心を刺激するために、あなたは子育ての中で、どのようなことに取り組んでいますか。また、今後取り組んでいきたいと思っていることはありますか。働き掛けの例を参考に考えてみましょう。

《知的好奇心を刺激する家庭での働き掛けの例》

- 植物を栽培する。
- 昆虫や魚などの生き物を飼育する。
- 一緒に料理する。
- 「なぜ?」「何?」と子供に質問されたら、一緒に調べる。
- 一緒に絵本や物語を読む。
- 一緒にニュース番組を見る。
- 町中のポスターや看板に書かれていることを一緒に読む。
- 子供を博物館や展覧会に連れていく。



① 上記以外にもたくさんありますね。あなたが既に取り組んでいることや、これから取り組んでいきたいことはどんなことですか。

② グループで意見交換してみましょう。

ふりかえり ～本日の講座はいかがでしたか?～



☆知っていたこと.....

☆新しく知ったこと.....

☆今後の生活に生かせそうなことは何ですか? 自由に書いてみましょう。

【手引き】

C-1

我が子の「好き!」から始めよう ～興味・関心・知的好奇心のくすぐり方～

我が子に「勉強をがんばって欲しい。」「いろいろなことに興味を持って挑戦して欲しい。」と願うのは、親として自然な思いです。しかし、子供が自主的に勉強しなかったり、何に対してもあまり興味や関心を示さなかったりして、親としては歯がゆい思いをすることはありませんか？

ここでは、子供が「学び」に取り組むきっかけ作りについて考えてみましょう。

エピソード

5分間

太郎は、友達から「恐竜先生」と呼ばれています。太郎が恐竜先生になったきっかけは、お父さんの一言でした。太郎が戦隊シリーズの怪獣に夢中になっていたある日、お父さんが、「怪獣は本当にはいないけれど、恐竜は昔々、本当にいたんだよ。」と教えてくれたのです。それ以来、太郎は恐竜に興味を持つようになりました。お母さんは、恐竜の絵本を図書館で借りてきてくれました。おばあちゃんは、恐竜図鑑を買ってくれました。毎晩、太郎は寝る前にその恐竜図鑑を眺めます。また、今年の夏休みには、恐竜博に連れて行ってもらうことになっています。

太郎の将来の夢は、本物の恐竜博士になって、恐竜の化石の発掘をすることです。

ワーク 1

- ① 太郎君は恐竜に興味を持っています。お子さんは、今、何に興味や関心を持っていますか。

【ポイント】

5分間

電車や動物、アニメのキャラクターなど、お子さんが興味を持っているものを思い付くだけ書いてみましょう。

- ② あなたは、その興味や関心をどのように応援し、子供の可能性につなげたいと思いますか。

【ポイント】

5分間

「好きこそものの上手なれ」。どんなものでも子供が興味や関心を持っているものは、深く広く発展していく可能性を秘めています。

- ③ グループで話し合ってみましょう。

10分間

【ポイント】

家庭によって応援の形は異なりますが、親の応援は、子供のモチベーションにつながります。さらにそこから、子供の将来の可能性につなげていけるといいですね。

ワーク 2

子供に興味・関心を持たせるには、親の働き掛けが大切です。知的好奇心を刺激するために、あなたは子育ての中で、どのようなことに取り組んでいますか。また、今後取り組んでいきたいと思っていることはありますか。働き掛けの例を参考に考えてみましょう。

《知的好奇心を刺激する家庭での働き掛けの例》

- 植物を栽培する。
- 昆虫や魚などの生き物を飼育する。
- 一緒に料理する。
- 「なぜ?」「何?」と子供に質問されたら、一緒に調べる。
- 一緒に絵本や物語を読む。
- 一緒にニュース番組を見る。
- 町中のポスターや看板に書かれていることを一緒に読む。
- 子供を博物館や展覧会に連れていく。



① 上記以外にもたくさんありますね。あなたが既に取り組んでいることや、これから取り組んでいきたいことはどんなことですか。

5分間

- 【例】・親子で、交換日記や手紙のやり取りをする。
・子供が興味を持っているテレビ番組を一緒に見る。
(ふだんの生活の中で取り組めるものを考えてみましょう。)

② グループで意見交換してみましょう。

10分間

- 【ポイント】
グループの人からたくさんのアイデアを聞くことで、自分の家でも挑戦してみたいことが見付かるといいですね。どれがすぐに取り組めそうか、どれが長く続けられそうか、話し合ってみましょう。

ふりかえり ～本日の講座はいかがでしたか?～

5分間



☆知っていたこと.....

☆新しく知ったこと.....

☆今後の生活に生かせそうなことは何ですか? 自由に書いてみましょう。

【まとめ】

周囲の大人が子供の知的好奇心をくすぐることで、子供は自分で調べたり、学んだりするようになるでしょう。この積み重ねが、子供の「学び」のきっかけになります。